

当院で非小細胞肺癌に対して抗がん剤や放射線治療を受けられた後に、肺癌の切除術を受けられた患者さんへ

当院では「肺癌に対するサルベージ手術の有効性と安全性を検討する多施設共同後ろ向き臨床試験」という臨床研究を行っております。そのため、本研究に該当する患者さんのデータを使用させていただきます。

(注)サルベージ手術とは、当初手術の対象とならないと判断され、抗がん剤治療や放射線治療を行った後、手術が可能と判断し行った手術を指します。最初から手術を計画し、術前治療目的で、抗がん剤治療や放射線治療を行った場合は該当しません。

1)研究の目的について

本研究の目的は、非小細胞肺癌に対してサルベージ手術を行った患者さんの治療経過、およびサルベージ手術治療関連の有害事象といった安全性の特徴を調査し、治療実態を明らかにすることです。

2)研究の方法について

本研究の対象は、2010年1月1日から2015年12月31日までに原発性肺癌と診断され、根治的化学療法または放射線治療またはその併用治療を受けた後に、当院で根治手術を受けられた患者さんのカルテ情報(年齢・性別などの背景、治療内容や効果/安全性に関する情報、臨床転帰)です。当院において患者さんの個人情報に関するデータを匿名化し、研究代表者の所属施設である群馬大学附属病院呼吸器外科のデータセンターに電子登録システムを用いて登録します。対応表は当院で保管・管理され、患者さんの個人情報を外部に送信することはありません。これにより患者さんのプライバシーは完全に保護されます。

3)治験・受託研究審査委員会での承認について

本研究は当院の臨床試験審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

4)調査実施期間について

調査実施期間:臨床試験審査委員会承認後、2019年8月31日まで

4)対象となる患者さん

研究全体で400名、当院では5名程度の患者さんが該当する予定です。

5)研究成果の公開